

1月7日、大崎市民会館を会場に、大崎市消防団員および大崎市婦人防火クラブ員約300人が参加し、「大崎市消防団出初式」が開催されました。

出初式は、消防団活動の重要性を共に確認し、防災・減災への意識を高めることを目的に実施しています。



▲参加者は防火・防災への決意を新たにしました

大崎市消防団の内海啓三団長は、「昨年は地震や水害などの自然災害の発生により、災害はいつでも起こり得ることを痛感するとともに、消防団の役割がいかに重要か再認識した。市民の安全・安心と暮ら

しを守るため、さらなる地域防災力の向上に努める」と決意を新たにしました。

式典終了後には、各地域の支団でも式典が行われ、古川支団では、宮城県消防協会長表彰などの受賞者が披露されました。また、志田分団、高倉分団、清滝分団による一斉放水が披露され、参加者は本年の無火災を願いました。

寒さが続き乾燥するこの時期は、火災が発生しやすくなります。暖房器具は正しく使用し、皆さんで防火意識を高く持ちましょう。



▲無火災を願って、一斉放水を披露しました

CITY TOPICS

まちの話題や出来事、
ニュースをお届けします！

新たな「2023年版観光ポスター」は、赤色・黄色と燃えるような紅葉の中を陸羽東線の列車が走る様と、鳴子温泉郷の「滝の湯」を通して、「鳴子温泉郷の魅力」を表現しました。

市内外の観光施設やJR古川駅などに掲示するほか、全国各地で大崎市をPRします。



▶大崎市の魅力をPRするポスター

「2023年・2024年版大崎耳よりガイドブック Vol.16」は、市民や関係機



▲ガイドブックは出かける際に、手に取りやすく、持ち運びしやすいデザイン

関によるガイドブック内容検討委員会などで内容を検討し、作成しました。

世界農業遺産「大崎耕土」や米、酒などの特産品の紹介、鳴子温泉郷特集、飲食店特集など、盛りだくさんの内容となっています。

観光ガイドブックは、観光交流課や各総合支所地域振興課、市内観光施設などで配布しています。ぜひ、手に取って、市の魅力を身近で感じてください。

▲鳴子温泉地域の伝統こけし特集などが掲載されています

Discover OSAKI

おらほのニュース
発信します！

第56回まつやま元旦マラソン&ウオーキング大会が開催されました



1月1日、松山地域恒例の「松山元旦マラソン&ウオーキング大会」が、3年ぶりに開催されました。

松山公民館をスタート・ゴールとした、マラソン1・2キロメートルと4・2キロメートル、ウオーキング1・5キロメートルの3コースで、総勢346人が参加しました。

子どもから高齢者まで、それぞれの体力に合ったコースで、楽しんで汗を流していました。



▲思い思いに楽しみました

1月の主な出来事

- 4日 ● 令和5年大崎市新年のつどい
- 第15回宝の都(くに)・活性化貢献賞贈呈式
- 大崎市特別感謝状贈呈式
- 第15回おおさき子どもサミット2022発表会
- 7日 ● 大崎市消防団出初式
- 8日 ● 令和5年大崎市二十歳の集い

たじり青少年意見発表会・新春講演会・賀詞交歓会が開催されました

1月15日、田尻文化センターにおいて、令和5年たじり青少年意見発表会と新春講演会が開催されました。

青少年意見発表会では、田尻中学校、古川黎明高等学校、田尻さくら高等学校の皆さんが、日頃感じていることや学んだことを題材に意見発表しました。

新春講演会では、東松島市縄文村歴史資料館名誉館長の岡村道雄氏が、「縄文研究の第一人者が語る『恵比須田遺跡の土偶と中沢貝塚の仮面』」をテーマに講演しました。

終了後には、沼部公民館において、賀詞交歓会が3年ぶりに開催され、参加者は近況を報告し合いながら、共に新年を祝いました。

■青少年意見発表会の発表者



熱海心琉さん
田尻中学校2年
演題「語りつぐことの大切さ」



遠藤空さん
古川黎明高等学校2年
演題「歴史の真価」



佐々木結愛さん
田尻中学校2年
演題「命のバトンに継ぐ三つの願い」



地紙早彩さん
田尻さくら高等学校2年
演題「自分なんかと思わずに」

▶新春講演会の講師 岡村道雄氏

